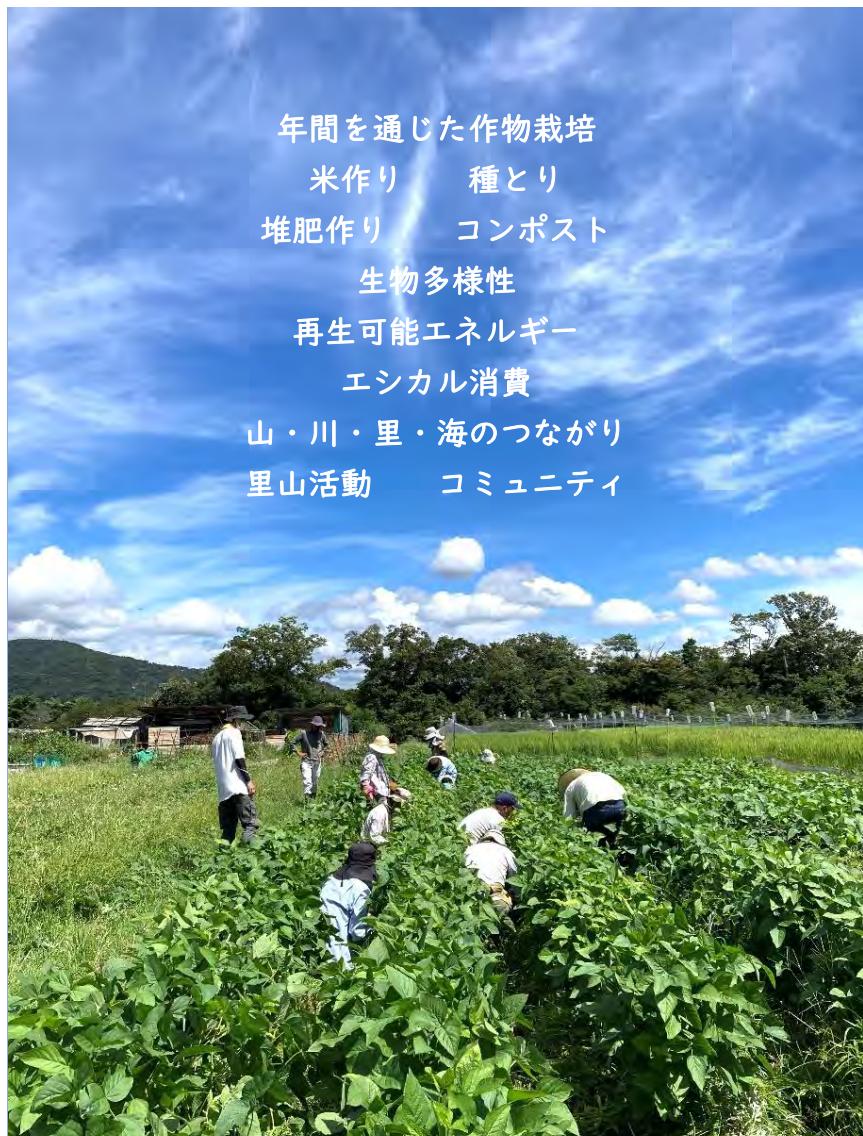




2025年4月開講 受講生募集中

農とくらしのミライ塾

持続可能な社会に向けて、人にも環境にも優しい農法で作物を育て、
くらしにつながる課題にも目を向けよう！
これからのかくらし方をともに学び、考え、そして、未来につなぐ。



実施日：2025年4月～2026年2月の木曜日（月2～3回）

定員：15名（多数の場合抽選）

対象：18歳以上

受講料：年間36,000円（税込み）

場所：西宮市鷺林寺地区

主催：生活協同組合コープこうべ第2地区本部

運営：有限会社Kuse○Farm

※詳しくは裏面をご参照ください

現地見学会

3月6日・13日（木）
午前10時～

お申込みは裏面をご参照ください

農とくらしの多様なつながりから考える 持続可能なくらしと地域

世界の人口が増え続ける中、日本では、人口が減少し急速なスピードで少子高齢化が進んでいます。食に目を向ければ、およそ6割を外国から貢いながらも、まだまだ多くの食べものが捨てられています。また地球温暖化が影響しているとも言われる異常気象は、農業にも深刻な影響を与えています。今あるくらしを見直し、よりよく暮らしていくために。コープこうべ第2地区本部では、持続可能な社会に向けた、場作り、人作りを目的に本講座を実施します。

スケジュール

2025年4月17日～2026年2月26日の木曜日 9時30分～12時実施（夏期：9時～11時30分）

講義：15回（主に第2木曜、月に2回の時もあります）

実地実習：15回（畠・田んぼ・社家郷山などでの実習）

その他、自由参加（補習）の実地実習日もありますので、栽培技術を身につけたい方、より多く土や野菜に関りたい方はぜひご参加ください。

（実施月と講義 / 主な実地実習内容）

4月	開講式 オリエンテーション / 米苗作り	10月	米と麦：二毛作と生物多様性 / 稲刈り、脱穀
5月	山とのつながり 兵庫県の林業の現状 / 間伐体験	11月	畠の環境改善と落ち葉の活用 / 麦の種まき、サツマイモ収穫
5月	くらしの循環 竹パウダーコンポスト / 夏野菜植え付け	12月	再生可能エネルギーとSDGs / 大豆収穫、しめ縄作り
6月	田んぼの役割と水のつながり / 田植え、大豆の苗作り	1月	アウトプット イベント企画 / 大豆選別、堆肥作り
7月	山と農地の植生（植生調査） / 野草の観察、大豆植え付け	1月	エシカル消費 / 冬野菜栽培振り返り、麦踏み
8月	海とのつながり 兵庫県の漁業の現状 / 冬野菜苗作り	2月	地域活性化（事例紹介） / 活動の振り返り、味噌づくり
8月	冬野菜栽培計画、夏野菜栽培振り返り / 敵立、苗作り	2月	修了式 これから取り組んでいきたいこと
9月	固定種と交配種 / 種とり、道具メンテナンス	3月	イベント出店予定

実地実習

- ・夏野菜栽培/冬野菜栽培（耕耘、敵立て、種まき/苗作り、草管理、水やり、収穫、撤収など）
- ・米作り体験（種まき/苗作り、代かき、田植え、草引き、稻刈り、脱穀、しめ縄作りなど）
- ・ボカシ肥料作り、堆肥作り、草刈り、などは随時必要に応じて作業します。
- ※農薬や化学肥料は使用しません。
- ・社家郷山での間伐体験

問合せ・申込み

受講・見学をご希望の方はこちらからお申し込み下さい



有限会社 Kuse○Farm (クセマルファーム)
担当：久世（クセ）
TEL：070-9098-2398
E-mail：info@kusemarufarm.com



Kuse
○
Farm

有機農業をベースに、生産者と消費者のより良い関係をつくる
CSA (Community Supported Agriculture: 地域支援型農業) を
展開。山と海をつなげる農業の役割に着目し、次世代のみなら
ず多くの世代に向けた農的学びの機会を提供しています。

実施場所

農地：西宮市鷺林寺2丁目

（阪神バス甲山墓園前より徒歩8分）

講義は、農地や近隣施設、西宮市内会議室で行います。



活動フィールドでもある社家郷山は、生物多様性保全上重要な「里地里山500」（2015年環境省）に選ばれ、「ひょうごの森づくり活動賞」（2019年、兵庫県）、全国育樹活動コンクール「林野庁長官賞」（2023年、国土緑化推進機構）を受賞しています。また、本講座はSDGsとも関連付けて取り組んでいきます。

※主に関連する目標↓

